

JHF理事会議事録

日 時： 2005年10月14日(金) 12:45～17:30

場 所： JHF事務局会議室（豊島区巣鴨3-39-4 東都ビル2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長：北野正浩 議事録署名人：大沢 豊 荒井健雄

記録：桜井加代子

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一

西ヶ谷一志 松田保子

欠席【理事】関谷暢人 中島吉徳 城涼一

【監事】對馬和也

(出席理事7名、欠席理事3名。今理事会は定足数を満たし成立した)

3. 会長挨拶/予算収支報告

下村会長から、9月末の収支予算進捗状況について説明した。

別表のとおり、運営積立金 160万円(40万円/月×4ヶ月)差し引き後の手元流動資金が、1千40万円となり、収支の改善は予定通り進んでいる。

来年度収入も、4500万円と予想され、これから運営積立金 500万円、保険費用 1000万円等を差位引いて、実際に活用できる資金が3000万円程度であることを報告し了承された。

4. 審議事項

10-1号議案 定款の一部改定について

事務局移転に伴う住所変更の為に改正するもの。次回総会で可決した上で、文部科学省に認可を申請する。

採決の結果、【賛成6 反対0 異議0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、西ヶ谷、松田

10-2号議案 北海道連盟教員更新講習会への講師派遣について

北海道連盟からの派遣要請に基づいて、講師を選任するもの。

講習会日程は10月30日、派遣講師の旅費は同連盟の負担。

荒井常任理事及び関谷理事の二名を派遣する案と関谷理事に替えて西ヶ谷理事を派遣する

案が提出された。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 異議 0】で、荒井常任理事、西ヶ谷理事を派遣することになった。

賛成： 大沢、荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田
(荒井常任理事は派遣旅費を自己負担することを申告)

10-3号議案 教員検定員の選任方法について

長野県連から、長野・山梨両県担当の教員検定員の公募を、県連の推薦によって行うよう要望書が提出された。

検定員は委員ではなく、いわゆる専門委員であり、専門員は委員会において選任できることになっている。また今回発表された検定員は、各地域の担当ではないので、この点について若干の誤解も見られる。

しかしながら、検定員選任に当たっては、最終的に正会員の意見を充分に反映させる努力が必要との点で一致した。

このことを踏まえて、事務局長が起案し、事前に理事会でのチェックを受けた上で、回答することが提案された。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 異議 0】で可決した。

賛成： 大沢、荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田

10-4号議案 教員検定委員追加についての要望書(補助動力委員会)

教習検定委員会に送付することとした。

5 協議事項

10-1 河口湖事故の再調査について

別紙のとおり菊池理事から報告された。今後のアクションとして、事故報告書を訂正し、それをご遺族に届けること、並びに事故の教訓を正しく生かしていくことが確認された。なお事故調査の仕方、資料のつくり方について、次回理事会までに菊池理事が要点をまとめることになった。

10-2 スカイレジャー航空無線の活用について

スカイレジャー航空無線導入以来、既に 6 年になる。この間、輸送費・修理費・免許更新のための印紙代等、諸経費の負担が大きくなっている。

一方アマチュア無線の法令に沿った運用のため、スカイレジャー航空無線へのニーズも高まっており、今後とも無線を円滑に利用する観点から有料化が必要となってきたこと

が報告された。

これを受け、2006年1月1日から、無線機貸出を有料化し、貸出料を1000円/台/大会とすることが提案された。

採決の結果、【賛成5 反対1 異議0】で可決した。

賛成： 荒井、菊池、下村、西ヶ谷、松田

反対： 大沢

2006年1月1日からの実施のため、ホームページに掲載するとともに、大会主催者、スクール、正会員へ、メールで通知することになった。

10-3 中止決定された共済会について、加入者及び正会員に迷惑がかからないよう文書で明示すること。

次のように対応することになった。

一般フライヤーの更新案内には、共済会加入案内チラシを同封しない。

共済会任意加入者の更新対象者については、来年3月までクローズする旨を告知し
更新するかどうかは、加入者の判断に委ねる。

JHFホームページの共済会バナーについては、トリニティジャパンとの交渉後にリンク
を外す。(11月半ば予定)

共済会受け皿つくりを急ぐ。 ユー・アイ・ユーに依頼するとともに、一般保険会社(東
京海上)等にも働きかける。 担当：西ヶ谷理事、添石事務局長

菊池理事質問書にある、加入者や正会員に対する公表は、これらの対応をした上で、速や
かに行う。

10-4 事務局移転と今後の課題

引越し費用概算について、事務局長から報告し了承された。

なお次のことについて確認した。

保管を委託している書類については、保管の環境、委託料などの諸条件を検討し、契約書
の作成を急ぐ。

会員管理システムについては、フライヤー会員のバックアップデータを CSV 形式で取り出すようにネットソアラーに依頼する（菊池理事）
DECADE に替わるシステムの開発を急ぐ。
会員規模も 15000 人規模程度になっているので、それに相応する簡便なシステムを開発する。北野常任理事を担当者とし、まず現状どのようなことができればよいのか、早急に調査し提案書を作成する。

その他報告事項を確認して閉会した。

この議事録が事実と相違無いことを確認し署名する。

議 長

(北野 正浩)

署名人

(大沢 豊)

署名人

(荒井 健雄)

記録係：桜井 加代子